

**世界中・日本中の人々に知って欲しい！伝えたい！ 世界一楽しい学校！がベネズエラにあることを！**  
**そして、そこで営まれている子どもたちと先生たちの心温まる日々の学校生活のことを！**



■ ■ 外周フェンス改修工事進む！ ■ ■

9月下旬から外周フェンスの改修工事を始めています。長い歳月の間に老朽化したフェンスを直し、避難路として新しい緊急時用の門を付けました。これで避難経路が増えました。毎日、一生懸命働く工事の人々の姿もまた、児童の良き教育環境になっています。

■ ■ 第2回授業研究会開催！ ■ ■

9月29日(木)に授業研究会を小学部5年生で行いました。「授業は教師の命」であり、「授業は児童の未来へのパスポート」でもあります。児童の未来への夢を学力を付けることで保障していくのです。授業研究会で、教師ひとりひとりの「授業力」を向上させていきます。



■ ■ 未来の体操選手！ ■ ■

倒立、Y字バランス、開脚前転…と床運動(マット運動)の連続技に取り組むカラカスの子どもたち。知・徳・体のバランスのとれた子どもが育っています。



■ ■ 両手に国際交流！ 一輪車頑張る！ ■ ■

小学部1年生は、体育の授業で一輪車練習。丁度、現地の学校が休みの従業員の姉妹も参加して、曲乗りの練習が始まりました。両手に国際交流、こんな思い出って、貴重だと思います。小さな友好大使、誕生！  
★★ 1月の日程紹介★★ (現在の予定) ★ 宿泊学習 11月10日～11日) ★ PTAもちつき大会 (11月19日)  
★ マリア校交流 (11月29日 参観に来てください)



**カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その131)**

**カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 26**

早いもので、昨年の盛大な創立40周年記念学習発表会・記念式典から1年が経とうとしています。今回から、もう一度原点に立ち返るために、今から41年以上昔の創立当時の話を連載していきます。

■それは、広田大使の提案で始まった！■ 創立10周年記念誌「アビラ」に開校に至るまでの話が詳しく出ています。「…昭和43年(1968年)5月、広田大使は着任されるや否や大使公邸に商社駐在員・在留邦人代表を招き、邦人子女の学校設立について提案された。学校設立といっても、参考にすべき前例はもとより、施設・資金ひとつあるわけではない。とりあえず、その場の出席者からポケットマネー10ポリーバルが徴収され、紙とチョーク等を購入する準備ができた。」なんとという熱意、なんとという行動力、この会議がなかったら、日本人学校設立はもっと遅れていたことでしょう。「…父兄の熱意は、その後の準備委員会にあらわれ、異論を唱える者もなく、また一人の反対者もなく、補習校設立の気運は一気に盛り上がった。こうなったら、至急教室を探さねばならない。カスティジャーナ地区、アルタミラ地区近辺の学校を一校一校聞いてまわった。そして、12～13校目、私立インスティテュート・エドカシオナル・アルタミラ校を訪ねた。校長のゴメス女史は当校の設立の趣旨をよく理解してくれ、その場で土曜日に教室と運動場の使用を許可してくれた。」**つづく**